

KYOTO HAORI コンペティション 応募作品一覧

【1-1】株式会社北川商店



＜ゆあがる・はおる～水面～＞

お布団屋さんが作る日常のはおりもの。吸湿性に優れた麻ちぢみ生地に加えて、襟部分に国内加工の「麻わた」を入れ込み、京鹿の子絞で絞りました。夏のひとときや湯上りのほてりで羽織る気持ちよさは格別です。

【1-2】株式会社北川商店



ゆあがる・はおる～桔梗～

お布団屋さんが作る日常のはおりもの。吸湿性に優れた麻ちぢみ生地に加えて、襟部分に国内加工の「麻わた」を入れ込み、京鹿の子絞で絞りました。夏のひとときや湯上りのほてりで羽織る気持ちよさは格別です。

【2-1】北川 翔一



＜ひび・はおりよしⅠ～さわらび～＞

受賞作品
(作品説明は別紙)

【2-2】北川 翔一



＜ひび・はおりよしⅡ～やきいも～＞

綿のカットソー生地をベースに、襟部分に「真綿（絹の手引きわた）」を詰めることで、暖かな絹本来のぬくもりと、綿特有の柔らかな着心地を楽しんでもらえるようにしました。

【3】一般社団法人京都絞り染め振興協会



＜網織紬フリンジ羽織＞

綿の漁網の目をカットし、これ横糸にして生地を織った「網織紬」に鹿の子絞りを入れ込みました。襟は竜巻絞りで縞模様を表現しています。フリンジと鹿の子絞りで作られたパーツを肩部分にアクセントとして使用。

【4】山口成織物



＜打掛HAORI＞

打掛制作で培った表現力を“羽織”という形で昇華し、より多くの人に着用の機会を持っていただきたいとの思いで制作しました。

【5】山口 尊子



<涼を纏う>

絹の織組織と生糸を使用したさらりとした素材に日本の伝統紋様を織り込んだ、紳士用春夏物の羽織を製作しました

【6】株式会社志山染匠 西山 岳志



<絵羽織 白樺風景>

受賞作品
(作品説明は別紙)

【7】株式会社京染せい山



<Neo Fysi Haori ネオフィーシハオリ>

生地は透け感のある夏素材の正絹で単衣仕立により自然で軽やかなシルエットを大切にしました。両面染により裏地を付けなくても裏側とのコーディネートを楽しめ、羽織った時の重さも感じないよう工夫した。

【8-1】優美アトリエ&トレード合同会社



<السماء و البحار - 空と海 - >

色のインスピレーションは空と海から。様々な文化・職業・人々が同じ空を共有し海を越えての交流や関わりがあることを表現。丹後ちりめん生地に京友禅染め、京都在住テイラーと「Made in Kyoto」の着物アバヤ。

【8-2】優美アトリエ&トレード合同会社



<شجر القرم العربي و الحرير الباهلي - アラビアのマングローブと日本のシルク - >

色のインスピレーションはアラブの砂漠から。広大な砂の色をアラビア湾に植わっているUAEを象徴するマングローブの木皮で草木染め。長めの袖丈は着物をイメージし、着に日本とアラブの文化を取り入れた着物アバヤ。

【9】有限会社ジャパNSTAイルシステム



<草木染の黒染めによる羽織ロングジャケット>

小幅の正絹丹後ちりめん、手描友禅染黒留袖の地染めに用いる草木染料「ログウッド」による黒染め（鉄媒染）を施しました。現時点で普遍的に流通している素材や染料を利用する事で原材料の入手性を容易化、かつ既存の染色ノウハウや道具の転用による加工の容易化、また既存産地メーカー（丹後ちりめん）の再活性化も狙っています。

【10】山田 紗也



＜天飛ぶ～AMATOBU～＞

世界に向けて飛び立つ羽織を仕メー
ジして外国の青い空と海、赤い大地
を染めました。羽織はリバーシブル
で、大地の色が裏地までつながっ
ていく。世界はつながり、一つである
という意味を込めています。

【11-1】KOTO 中村有希



＜紋付袴コート＞

羽織るだけで羽織袴スタイルになる
HAORIを製作。羽織紐をイメージし
たファーボタンと袖口のファーにポ
ケットを付けより洋装コートに近づ
けました。袴ストライプのワイドパ
ンツと合わせれば、羽織袴スタイル
の完成です。

【11-2】KOTO 中村有希



＜KOTO・シャネル風ジャケット＞

受賞作品
(作品説明は別紙)

【12】木村 芳次



＜吹雪・色重ね＞

丹後ちりめんの生地ロー吹雪を使
い二度染し色に深みを出していま
す。ビジネスシーンでも着れるよう
に配色には上品さを持たせました。
キモノの上だけでなく洋服の上から
でも羽織れるようにシンプルなデザ
インとしました。無地では平面的な
のでローの吹雪で少し奥行感を出し
ています。

【13】清水 幹子



＜不思議の国のアリス＞

イギリスの児童文学「不思議の国の
アリス」より物語の一節のトランプ
兵が慌てて白バラを赤バラに塗り直
しているシーンを羽織にデザインし
ました。地色にはアリスの衣装のメ
インイメージである水色を選びまし
た。

【14】西林 誠司



＜sewing＞

和洋兼用の単衣はおり。
透け感のあるシルク100%素材を使
用し、ポイントには刺繍を配置しま
した。
刺繍はレースのような文様を微妙な
色差をつけながら繊細に表現しまし
た。
春先や秋にはおれるものです。

【15】丸仙株式会社



<はんなりと春>

絹のリボンで春の色とりどりの花々や、風に吹かれて花びらが舞っている様子を表現しました。風が吹くとリボンも揺れ、HAORI全体が上品で華やかな、正にはんなりとした春を表したHAORIに仕上がっています。

【16】佐藤 周子



<熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな>

受賞作品
(作品説明は別紙)

【17】竹本妃那・大平嗣美・岡島美羽・小林華奈



<ジャポニズム再び>

アート・ユニの流彩染(墨流し)とぼかし染めによるオリジナルテキスタイルを使用。デザインは京都嵐山に伝わる扇流しがモチーフ。2つの袖口を設け和洋装共に対応、ドレープとコクーンシルエットが特徴です。

【18】N's 1182 前田 雄亮



<Ohmu Haori>

N's 1182 Yusuke Maeda "Ohmu Haori" 2023SS
Instagram :
<https://www.instagram.com/ns1182.jp/>

【20-1】弥満仁株式会社



<目返し絞りショート丈羽織>

総絞りで扇面と梅を組み合わせた文様、及び青海波の文様を絞りそれぞれ「目返し染め」と呼ばれる染色方法で鹿の子の目の中まで染色しています。着丈はショート丈で仕立て、よりカジュアルに着用できます。

【20-2】弥満仁株式会社



<道長取り総絞りショート丈羽織>

四季折々の文様や古典文様を「道長取り」と呼ばれる柄の配置で表現した総絞りの羽織です。着丈はショート丈で仕立て、動きやすいデザインとしました。

【21】 藤理工芸株式会社



＜大華紋＞

点描で華紋を表現しました。

【22-1】 川端有限会社



＜翼～つばさ～＞

生地は、西陣織をテーマにしています。
通気性に優れた機羅で織り上げ、糸をもじる事で柄を表現しています。陣羽織としても良いですが、スラックスや綿パンなどと組み合わせ着こなしても、粋になるように仕上げてます。

【22-2】 川端有限会社



＜爽やかな風＞

生地は、西陣織をテーマにしています。
通気性に優れた機羅で織り上げ、染めは捺染(なせん)です。
女性らしく柔らかかなイメージに上げています。

【22-3】 川端有限会社



＜カジュアルHAORI～ワンピース～＞

生地は、西陣織をテーマにしています。
正絹にこだわり、ハワイをイメージした青とコルク調のボタンで仕上げられています。
ボタンを外せば、Haori
ボタンをすれば、ワンピース
自由にアレンジ出来る作品に仕上げられています。

【22-4】 川端有限会社



＜カジュアルな自分＞

生地は、西陣織をテーマにしています。
通気性が優れた、紋紗で織り上げています。
動きやすく、開放的なHAORIに仕上げました。

【24】 山田 絹子



＜ウールでつくった竜巻紋り羽織＞

受賞作品
(作品説明は別紙)

【25-1】 水井 晴香(合同会社森林堂)



<蓮>

蓮をモチーフにインクジェットテキスタイルプリントで製作しました。袖のスリットを深く入れることで、肘を曲げた際に袖が下に垂れ、羽織のシルエットの印象が少し残るようにデザインしました。

【25-2】 水井 晴香(合同会社森林堂)



<芽吹>

枝の芽吹きをモチーフにインクジェットプリントで製作しています。夏用の紗の生地を使用することで、透け感のある仕上がりとなり、中に着用する洋服によっても印象が少し変わる羽織となっています。

【26】 岡元 瑠菜・志賀 久美子・森垣 哲夫



<美心伝心>

性別に囚われないデザイン、着やすい動きやすいよう両サイドにスリットとプリーツを入れるなど機能性だけでなく、デザイン的にもカジュアルにお洒落に着こなせるよう今どきの羽織を細部にまでこだわって作りました。

【27】 谷山 太郎



<Silk Leather HAORI Coat>

羽織の特徴的な角袖はそのままに、コートならではのビッグカラー、ヨーク、ウエストベルトをミックスし現代人が着やすいデザインにしました。襟は平面構成を意識した独創的な襟になっています。

【28】 田勇機業株式会社



<ちりめんコート>

着物用の生地巾がネックとなり和装や洋装の壁に悩まされてきた機屋が、着物と同じ直線断ちで仕立てた新しい衣服のジャンルとして制作したHAORIです。誰がどこで着ることにルールはなく、どのように着ても人それぞれの個性が出るHAORIを目指しました。

【29】 辻井 健作



<シンプルだが・・・粋>

受賞作品
(作品説明は別紙)

【31】 片平 愛恵



<竹竹 (ちくちく)>

竹特有のしなやかさ、繊細さを表現する為に刺し子の技法を使いました。着る方のシルエットに合わせて羽織の形を変えられ、羽織の雰囲気や表情がガラッと変わる為様々な場面で着用が可能です。大切に長く使って欲しいという願いを込めて制作しました。

【32】 マシタミヒヨ



<イロ マトウ>

一枚の布の可能性を考える。織った布を日常に日常着として纏うことができれば。既制服という概念ではなく、工夫の先にある布の活用方法として。

【33】 佐々木 怜喜



<日本の青春>

「日本の青春」をイメージし、セーラー服を羽織に落とし込みました。国内外問わず、日本の学生服のイメージが強いセーラー服のシルエットの中にプリーツや袖の一部に藍染の生地を使用し、日本らしさを表現しました。

【34】 CHIAKO



<羽ジャン>

羽織とジャンパーを掛け合わせたこの作品は、制作の一月前に偶然出会った、70歳の洋裁職人との出会いから生まれました。リバーシブルで、着物をかっこよく、また洋服にも和を取り入れて着ていただけます。職人と一緒に過ごした時間は宝物です。この羽ジャンには『貴方の才能に情熱を持ち続け生きる』というメッセージを込めて繁栄の象徴である鳳凰を描きました！

【35】 山添 千種



<手織ヤクシルク胴服>

新開発の広幅手織機を用いて製織した生地を使用。襟と肩を広く取り、直線的な着物ならではのシルエットを生み出すよう工夫した。撚糸・整経・紋データ製作・製織・縫製まで、製作者が一貫して手掛けた。

【36】 中島 あや



<羽織コート>

色無地に紗の生地を重ねて、透け感のある仕上がりになりました。柄を重ねたり見えない裏地に柄を入れる着物の楽しさを形に出来たら、という思いをアイデアに製作しました。

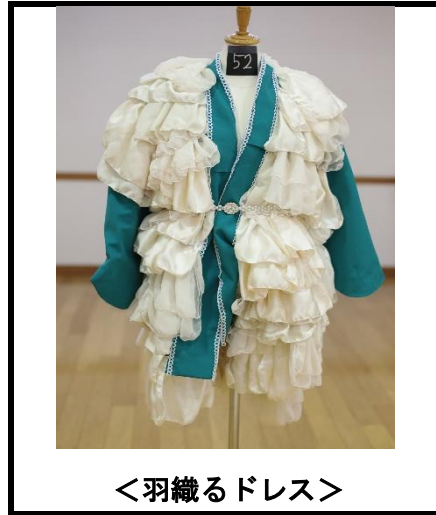
【37】岩井 太伸



＜羽縁 (はべり)＞

日本が世界に誇る畳文化に新たな価値を生み出たく制作しました。縁の特有の光沢感や日本の伝統文様を活かすことを心掛けました。この作品が世界に誇る日本の畳文化のさらなる発展に寄与することを期待したいです。

【38】酒井 萌



＜羽織るドレス＞

家のタンスに眠っていた着物と反物を使用し、新しい羽織を制作しました。和を感じる反物をギャザーを寄せてフリルにし、和と洋を組み合わせました。たくさんのフリルを縫い付け、ドレスのように仕立てました。

【39-1】中澤 聡美



＜ふわり＞

和服・洋服でも着用でき、男女どちらでも着用できるようなデザイン・サイズ、別作品(『ストレート』)と対になるよう意識して制作しました。ペアでの着用や着回しもできたら良いと考えました。

【39-2】中澤 聡美



＜ストレート＞

和服・洋服でも着用でき、男女どちらでも着用できるようなサイズ感やデザインを意識して制作しました。ベルト部分も着脱可能にしてあります。一反から二着制作している為とサイズやデザイン等は対になるよう意識しました。

こちらの作品はスッキリとしたデザインを意識しています。